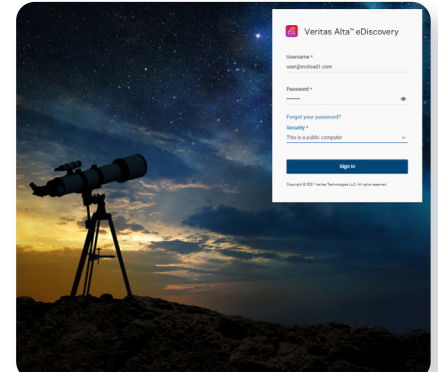




Veritas Alta™ eDiscovery

概要

Veritas Alta eDiscovery (旧 Veritas Advanced eDiscovery) とは、電子的に保存された情報を企業の法的および調査ニーズに応じて収集、レビュー、生成できる、クラウドベースでエンドツーエンドの電子情報開示 (eDiscovery) ソリューションです。この SaaS eDiscovery ソフトウェアは、情報開示ニーズやコンプライアンスニーズに応じて、スタンドアロンで、あるいは Veritas Alta™ Archiving (旧 Veritas Enterprise Vault.cloud) ソリューションと組み合わせて使用できます。Veritas Alta eDiscovery は企業の関連コンテンツソースの正当な収集、すべての種類のデータの専用レビュー、関連ドキュメントの効率的な生成という情報開示ソリューション全体を一括して提供します。



eDiscovery を強化する新しいブランド

Veritas Alta は、クラウドマーケティング、メッセージング、クラウドネイティブの製品アーキテクチャに焦点を合わせています。Veritas Alta eDiscovery は引き続き、企業のお客様がすべてをキャプチャし、場所を問わずにアーカイブし、重要なものを見つけられるようにします。

情報開示要求に対する準備はできていますか？

電子データの開示への動きは今日の訴訟社会では一般的ですが、ほとんどの企業は、メール、添付ファイル、ルーズファイル、ワークスペースコラボレーションデータなど、電子的に保存された情報 (ESI) を検出する準備ができていません。eDiscovery の目的は訴訟だけに限られなくなっています。プライバシーに関する要求、FOIA に関する要求、社内調査でも、企業が準拠すべき同じプロセスをたどります。

Veritas Alta eDiscovery では、問題や調査に関して部門を越えてコラボレーションできるため、社内と社外の法務チーム、IT、HR、企業のその他の関係者の連携をより効率的に進められます。ベリタスのソリューションには、リアルタイムの反復検索機能、組み込みのコラボレーション eDiscovery ワークフロー、柔軟な SaaS エクスポートオプションなど、こうした専門家が目的のデータセットをすばやく見つけるために必要なツールが組み込まれています。

訴訟に備える

電子情報の急増の勢いは衰えておらず、情報がバナンスはその規模を問わず、厳しく規制されている企業から世界各国の無数の企業へと広がっています。多額の罰金と厳しい法的制裁を回避するには、関連情報を検索し、eDiscovery や調査要求に迅速に対応できる簡単な方法が必要です。Veritas Alta eDiscovery では、統合コミュニケーションおよびインスタントメッセージングシステムからのすべてのメール、添付ファイル、コンテンツ、および Microsoft SharePoint®、Box、Salesforce® Chatter コミュニケーションからのファイルを単一のオンラインリポジトリに保存してインデックスを付けます。

- 拡張可能なグリッドアーキテクチャ、高度なインデックス処理技術、わずか数秒で結果を得られる強力な検索機能によって、eDiscovery やその他の調査に関する問い合わせに迅速に対応します。
- 企業の法務チームと社外の弁護士がリポジトリに直接アクセスできるようにして、問題管理を合理化します。組み込みのコラボレーションワークフローを使用すると、複数のレビューア間でレビューワークロードを共有し、検索結果を迅速に絞り込み、成果物を関連アイテムに適用できます。
- 社内および社外の指定レビューアと管理者が検索結果のオンラインエクスポートをセルフサービスで実行できるようにし、企業の IT チームの中断を最小限に抑えます。

Veritas Alta Capture による コンテンツキャプチャ

Veritas Alta Capture (旧 Veritas Merge1) は、Veritas Alta eDiscovery ソリューションに直接統合されており、Veritas Alta eDiscovery を補完して、規制コンプライアンス、社内ポリシー、eDiscovery イニシアチブに最も関連するデータソースへと収集を拡張します。高度なネイティブビューにより、エンドツーエンドの SaaS eDiscovery、Merge1 の統合による 120 以上のコンテンツソースの迅速な情報収集、対象を絞った収集を、早期ケース評価のためのメタデータ強化と合わせて実現します。

さらに、Veritas Alta eDiscovery は Microsoft 365 用のワンストップ情報開示ソリューションであり、すべての eDiscovery ニーズに応じて M365 エコシステム全体をキャプチャします。

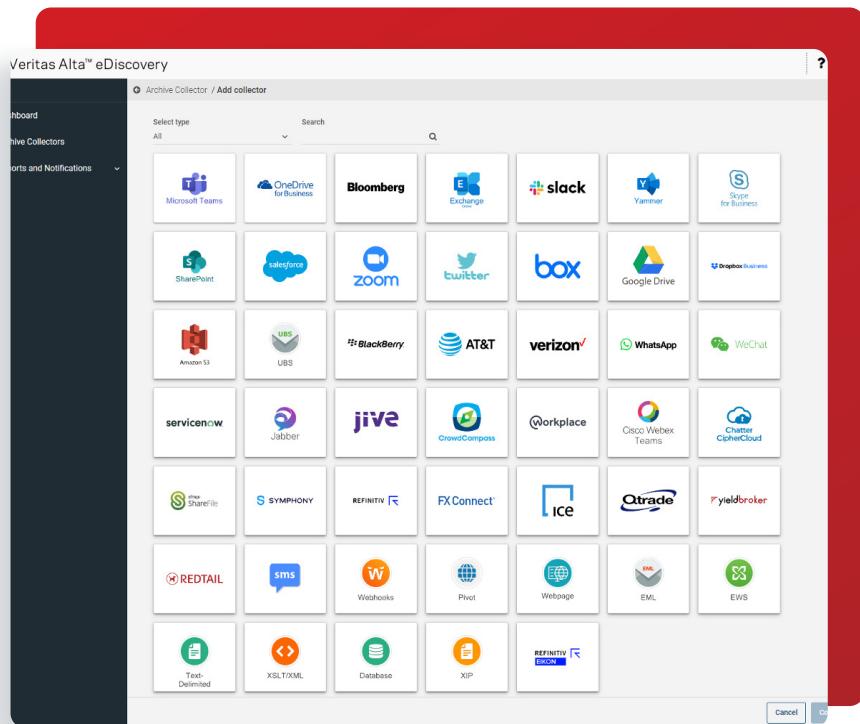


図 1. Veritas Alta Capture でのすべての情報開示またはアーカイブ目的の関連コンテンツソース。

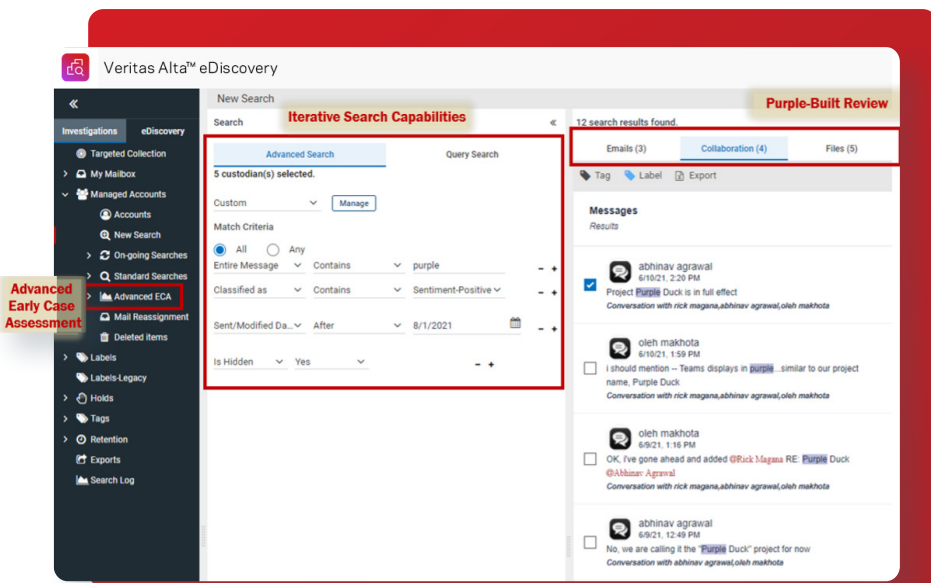


図 2. 複数の異なる条件を使用して高度な検索を迅速に実行し、専用のレビュープラットフォームで結果を分析

高度な反復検索機能

Veritas Alta eDiscovery の拡張可能なグリッドアーキテクチャと高度なインデックス処理技術により、検索結果をわずか数秒で提供できます。さらに、指定のレビューアと管理者は、製品の強力な検索機能で複数の異なる条件（キーワード、カスタディアン、データ範囲など）を使用して反復検索（検索内検索とも呼ばれます）を構築し、関連情報が見つかるまで検索を絞り込み続けることができます。レビューアが条件を追加し、検索結果を絞り込みすぎた場合、結果を制限した検索語を削除するだけで済みます。検索全体を再構築する必要はありません。

目的の条件を確立したら、その検索を保存します。これにより、その条件を満たす新しい情報がすべて自動的に追加され、レビュー時間が大幅に短縮されます。ブール検索、近似検索、ワイルドカード検索機能も利用可能なため、指定のレビューアと管理者は別の方法で関連情報を簡単に見つけ、エクスポート前にさらに検索結果を絞り込むことができます。

eDiscovery のコラボレーションワークフロー

eDiscovery のコラボレーションワークフローには、Veritas Alta eDiscovery のすべての問題管理機能が含まれており、eDiscovery プロセスの一環として複数のレビューアが特定の問題に関して対話し、コラボレーションできます。事案が作成されたら、管理者はケース内で各レビューアに個別の権限をプロビジョニングし、レビューアがメッセージのレビュー、問題ログ/レポートの表示、エクスポートの作成、その他のレビューアの管理、問題の編集などの機能を実行できるようにします。

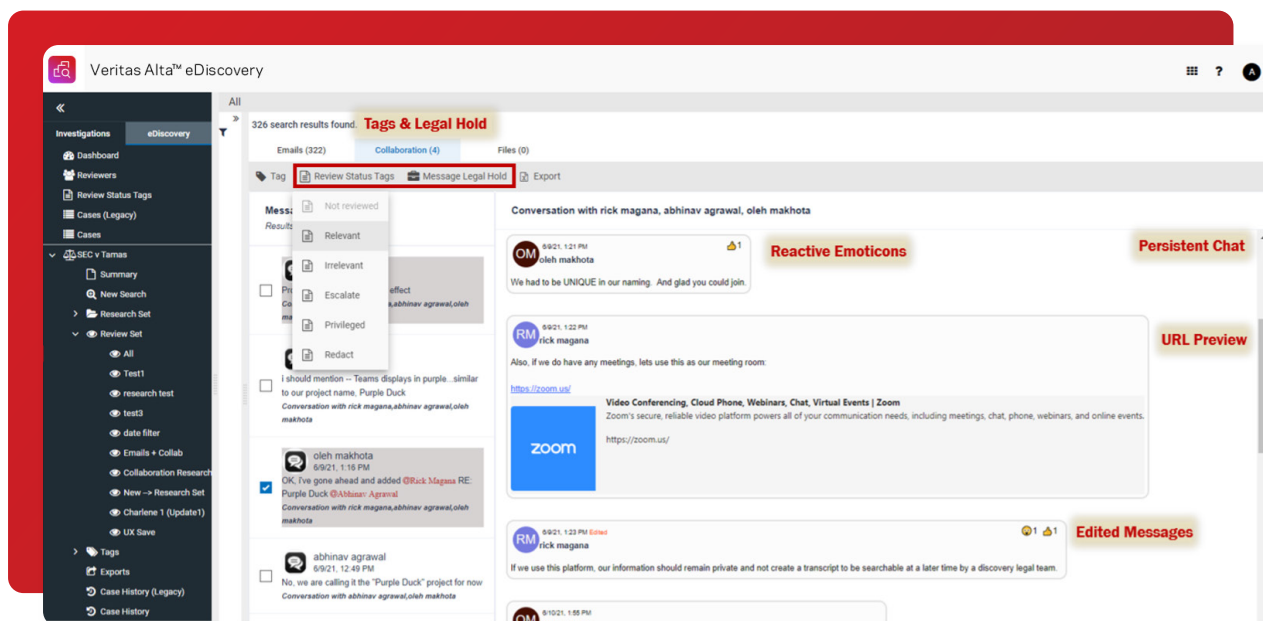


図 3. タグとリーガルホールド機能、ほぼネイティブのチャットレビューを備えたコラボレーションビュー (MS Teams)。

問題へのアクセス権を付与されたレビューアは、基本機能と高度な機能を使用して、関係するカスタディアンのアrchiveを検索できます。これらの検索は保存して複数のレビューアに割り当て、ワークロードを分散し、eDiscovery プロセスを迅速化できます。

また、レビューアは、Archiveされた情報をホールド状態にし、レビューステータスまたはラベルを適用し、Archiveされた情報を分類して、問題に取り込んでいる他のレビューアが確認できるようにメモを追加することができます。

さらに、Veritas Alta eDiscovery にはレポート機能が用意されており、レビューアと管理者が個々のメッセージの監査証跡または問題全体の履歴を表示できます。

柔軟なエクスポートオプション

Veritas Alta eDiscovery なら、指定されたレビューアと管理者が検索結果のオンラインエクスポートをセルフサービスで簡単に実行できます。Veritas Alta eDiscovery のアイテムは、EML、PST、JSON 形式、EDRM XML ファイルあり/なしでエクスポートし、ダウンストリームの eDiscovery ソリューションへとインポートしたり、正当化のために成果物としてエクスポートできます。また、Veritas Alta eDiscovery のエクスポートメニューでは、承認済みのレビューアと管理者がエクスポートに名前を付け、パスワードで保護することができます。

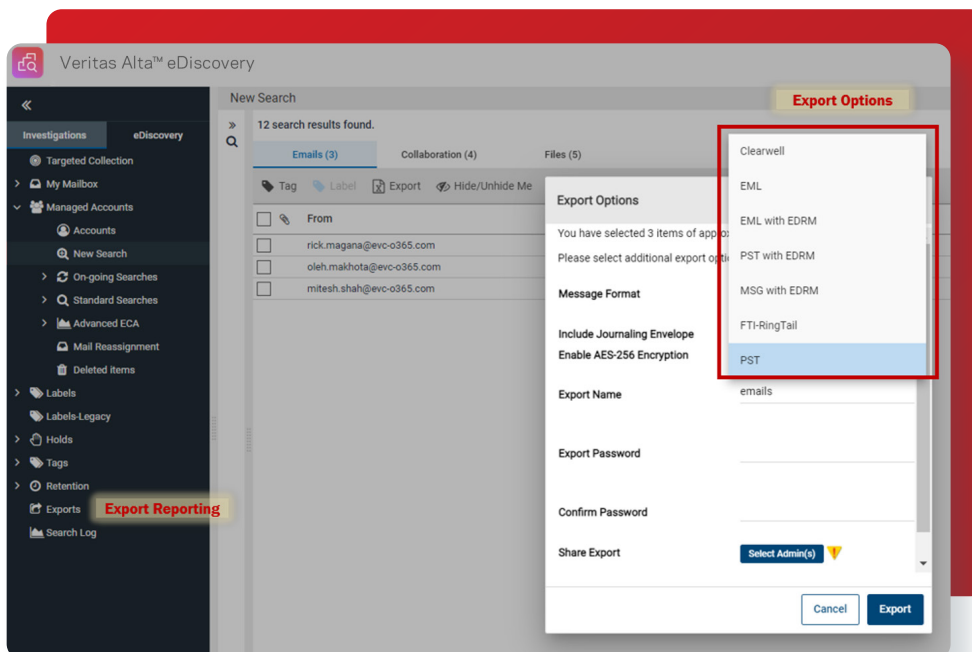


図 4. 詳細なレビューと分析のために検索結果をオンラインで柔軟にエクスポート。

Azure Blob Storage

Veritas Alta eDiscovery では、Azure Blob Storage へのエクスポートが導入されており、エクスポートしたデータを Azure クラウド内の指定された場所に直接送信できます。これにより、法務チームは、データをネイティブ形式、または正当な成果物の形式で Azure blob storage の場所に直接エクスポートできます。この機能強化により、データをクラウドで保持できるため、エクスポートしたデータをダウンロードしてからアップロードする必要がなくなります。エクスポートが 1 回で済むため、お客様はクラウドでデータを保持するという利便性を得ながら共同法律顧問または相手方法律顧問へ送信するプロセスを迅速化できます。

ベリタスについて

Veritas Technologies は、マルチクラウドデータ管理のリーダーです。データの保護、リカバリ能力、コンプライアンスを確保するために、Fortune Global 100 の 95% を含む、先進企業 80,000 社以上が、ベリタスのソリューションを導入しています。ベリタスは、ランサムウェアのようなサイバー攻撃もたらす脅威に対してお客様が必要とする回復力を提供し、大規模な環境でも信頼できると評価をいただいております。単一の統合されたアプローチを通じ、800 以上のデータソース、100 以上のオペレーティングシステム、1,400 以上のストレージターゲット、60 以上のクラウドをサポートしており、ベリタスの実行能力に匹敵するベンダーは他にありません。Cloud Scale Technology により、ベリタスは運用にかかる煩雑さや業務量を削減しつつ優れた価値を提供する、自律型データ管理の戦略を提供しています。ベリタステクノロジーズ合同会社は、Veritas Technologies の日本法人です。

VERITAS™

ベリタステクノロジーズ合同会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-11-44
赤坂インターシティ 4 階
www.veritas.com/ja/jp

各国オフィスとお問い合わせ先については、
弊社の Web サイトを参照してください。
veritas.com/ja/jp/company/contact